



●安全教育の実施

年が明けてマシン製作を始める前にチームメンバー全員に安全教育を実施しました。学生フォーミュラの活動は様々な工作機械を使用したり、ガソリンなど一歩間違えれば大事故に繋がるようなものを多く取り扱ったりします。マシン製作を行う上で安全が第一であり、また1チームの1部員の行動が全日本学生フォーミュラ大会の存続にも影響を及ぼす可能性があるため、そのことを自覚し活動を行っていききたいと思います。（文責：芝池）

●製作開始

2010年度の新しいマシンの完成に向け設計を終え、製作を開始いたしました。昨年度のマシンはシェイクダウンまでに予定していたものよりかなりの時間がかかってしまったので、今年度は昨年度のようなことがないように各班で大まかな予定、細かな予定を立てて作業を行っております。

現在、予定と遅れているパーツがあるためそれぞれのパーツで遅れを取り戻す対策を行い、予定を崩さないように気を引き締めて製作していききたいと思います。目標としているシェイクダウンの日を間にあうようにこれからも頑張りたいと思います。（文責：鈴木）

●ドライバー紹介

大会でマシンを操るFHTのドライバーをご紹介します。

今回はレーシングカート経験者でチームのエースドライバーである山内にいくつか質問をしてきました。



・山内 優輝

—— 初めてハンドルを握ったのはいつでしたか？

小学生の頃、ゴーカートだと思います。高校でレーシングカートを始めました。

—— 普段はどのような練習をしているのでしょうか？

練習というか、自分の車でワインディングやサーキットに行っで遊んでいます。

—— チームのマシンを運転する時に心がけていることはありますか？

壊さないことを第一に、どう乗れば速い車なのか色々試しています。

—— 最後に、ドライバーとして今年の目標は何でしょうか？

動的審査でマシンの性能を最大限引き出すことと、次年度に活かせるよう大会中のマシンの状況をしっかり把握することです。

(文責：田熊)